

数字で見る大阪経済のツボ

大阪シティ総合研究所の専属スタッフが
 さまざまな経済指標にスポットをあて、
 大阪経済の現状を分かりやすく解説します。

2024年5月

大阪府の外国人雇用状況について

厚生労働省が公表した令和5年の「外国人雇用状況の届出状況」によると、全国の外国人労働者数は前年比22万5,950人増加し、204万8,675人となりました。また、外国人を雇用する事業所数は31万8,775所で前年から1万9,985所増加しています。ともに届出が義務化された平成19年以降、過去最高を更新しました。

これを、上位3都府県で見ますと、外国人労働者数は東京都が54万2,992人で最も多く、大阪府は愛知県に次いで3番目に多くなっています。大阪府の外国人労働者数は、14万6,384人で前年から2万1,814人（同14.9%増）増加し、全体の7.1%を占めます。

また、外国人雇用事業所数は、東京都（7万9,707所）に次いで、大阪府（2万5,450所）、愛知県（2万5,225所）の順で多くなっています。大阪府の外国人雇用事業所数は前年比2,037所増加し、8.0%のシェアとなっています。

上位3都府県別の外国人雇用状況（令和5年10月末時点）

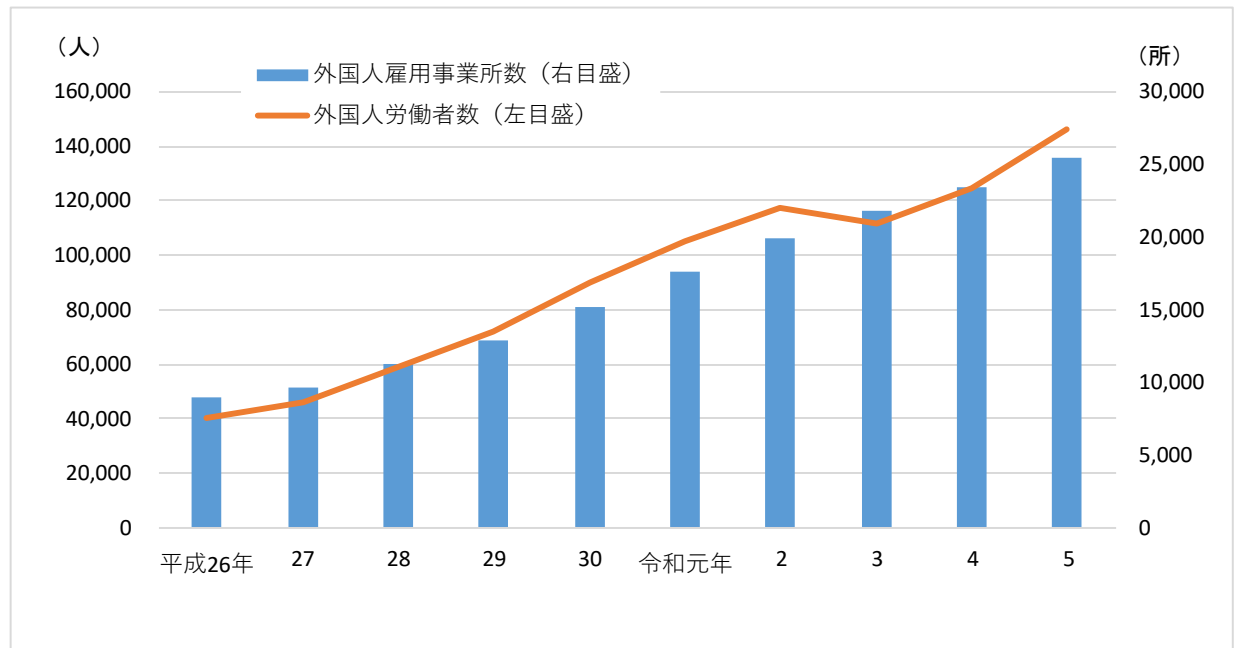
	外国人労働者数(人)			外国人雇用事業所数(所)		
		前年比 増減(人)	シェア (%)		前年比 増減(所)	シェア (%)
大阪府	146,384	21,814	7.1	25,450	2,037	8.0
東京都	542,992	42,903	26.5	79,707	3,496	25.0
愛知県	210,159	21,468	10.3	25,225	1,375	7.9
全 国	2,048,675	225,950	100.0	318,775	19,985	100.0

【資料】厚生労働省

大阪府の外国人雇用状況の推移をみますと、外国人労働者数は令和3年に新型コロナウイルスの影響により若干減少したものの、平成26年（40,343人）から令和5年（146,384人）までの10年間で、約3.6倍に増加しました。一方、外国人雇用事業所数も、平成26年（8,916所）から令和5年（25,450所）まで右肩上がり増加しています。

日本の少子高齢化の状況と政府が外国人の受け入れを拡大している状況から、今後も外国人労働者は増加を続けることが予想されます。

大阪府の外国人労働者数と外国人雇用事業所数の推移



大阪府の外国人労働者数と外国人雇用事業所数（10年間の推移）

調査年	外国人労働者数(人)			外国人雇用事業所数(所)		
		前年比 増減(%)	シェア(%)		前年比 増減(%)	シェア(%)
平成26年	40,343	5.8	5.1	8,916	5.4	6.5
27	45,838	13.6	5.0	9,617	7.9	6.3
28	59,008	28.7	5.4	11,322	17.7	6.6
29	72,226	22.4	5.6	12,926	14.2	6.6
30	90,072	24.7	6.2	15,137	17.1	7.0
令和元年	105,379	17.0	6.4	17,654	16.6	7.3
2	117,596	11.6	6.8	19,912	12.8	7.5
3	111,862	▲4.9	6.5	21,789	9.4	7.6
4	124,570	11.4	6.8	23,413	7.5	7.8
5	146,384	17.5	7.1	25,450	8.7	8.0

【資料】厚生労働省

以 上